



すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

- 1 安心・安全な市民生活について
 - (1) 津波注意報発令時の対応・周知方法について
- 2 学校施設の在り方について
 - (1) 平田野中学校移転計画の水泳用プールと武道場の建設について
 - (2) 子どもと高齢者との交流について

質問1(1) 津波注意報・警報が発令した際に海岸線に居る人に告げる方法が広報車とサイレンのみである。サイレンの識別が出来るようにすることと、放送設備の設置を急いで欲しい。



答弁1(1) 警報発令時は非常配備体制をとり市民に告知する。既存の方法の他、FM放送も協定して情報の伝達体制を整える。

質問2(1) 学校にプールを造らなくても、より安い経費でより充実した水泳の授業が展開出来るが、武道場・プールをどうする予定か。

答弁2(1) 多くの方々から意見を聴いて検討する。

質問2(2) 65歳以上で独居生活をしている人が市内に約5,000人いる現在、子どもと高齢者双方の為になる施設のあり方、取り組み方を学校と地域で作り上げていく意識づくりにより力を入れて欲しいが。

答弁2(2) 子ども達の為に、地域・高齢者から色々な支援をいただいている。心の交流が増えるよう関係づくりを推進していく。



あくていぶ21 森田 治已 議員

- 1 集落間の防犯灯の設置について
- 2 鈴西小学校の校舎問題について

質問1 地域の防犯対策として、集落間の防犯灯の設置状況と促進策、また通学路の防犯灯の設置の促進策や安全安心の取り組みについて問う。

答弁1 防犯灯を設置することは、照明による犯罪抑止効果や地域防犯活動の促進につながる。平成16年度に「鈴鹿市集落間防犯灯設置費補助金交付要綱」を制定し、集落間の防犯灯の設置を促進してきたが、より一層の設置促進を図ることから、今回、この補助制度の地域の負担軽減の見直しを行なった。一方、通学路については、集落間の通学路に設置された防犯灯を対

象に電気代の管理費の補助事業を創設し、設置が促進されるよう努めたい。行政と学校、地域が一体となり、子どもの登下校の安全確保と通学路の集落間防犯灯の設置の促進に一層力を注ぎたい。

質問2 鈴西小学校特別教室棟及び管理棟のコンクリート強度不足問題について、早期の補強工事が必要であるが、現在の状況はどうか。

答弁2 一次調査の結果、さらに詳細な調査の必要が生じたため、現在、建物全体の立体的な状況調査を行っており、この結果を基に、総合的な補強計画の策定を行う。その後、可能な限り早期に、補強工事に着手したいと考えている。



あくていぶ21 矢野 仁志 議員

- 1 ※メディアリテラシーについて

※メディアリテラシー…メディアを立体的に読み解く力。

質問1(1) 学校における情報教育について文部科学省の方針は、それをふまえて本市では情報教育において情報モラルをどのように扱っているのか。保護者への啓発はどのように行われているのか。

答弁1(1) 文部科学省では情報社会に参画できる能力や態度を育成することを求め、新学習指導要領に「情報モラルを身に付ける」ことを明記し、指導の充実を図ることとしている。学校においては、問題を未然に防ぐため操作を教えるだけでなく、情報モラルに関する指導に留意し、情報教育の充実に努めている。また家庭で

の理解と協力が不可欠と考え、あらゆる機会をとらえ啓発に今後も努めていく。

質問1(2) 市内の児童生徒の所持している携帯電話の※フィルタリングの現状とその対応は。

答弁1(2) 中学生のフィルタリング機能設定率は低い。家庭の責任に負うところであるが、鈴鹿市青少年対策推進本部を中心に有害情報対策を進めたい。

質問1(3) 市内の小中学校裏サイトの実態とその対応は。

答弁1(3) 本市ではアドレスが複雑化しているため実態を把握できない。関係機関と密接な連携を図りながら、市内の学校裏サイトの発見や対応に努めていきたい。



※フィルタリング…インターネット上、有害サイト等へのアクセスを制限すること。